

書窓

Shoso

No.436

2021.9

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鵜

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

子どもの本だな94

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

おおきなかぶ ロシアの昔話

A.トルストイ 再話 内田 莉莎子 訳
佐藤 忠良 画 (福音館書店)

おじいさんがかぶをうえました。甘い元気のよい、とてつもなく大きいかぶができました。おじいさんはかぶを抜こうとしましたが、抜けません。おじいさんはおばあさんと呼んできました。おばあさんがおじいさんを引っぱって、おじいさんがかぶを引っぱって「うんとこしょ、どっこいしょ」。それでもかぶは抜けません。孫を呼び、犬、猫を呼んできて引っぱっても抜けません。猫はねずみを呼んできました。みんなで「うんとこしょ、どっこいしょ」。やっとかぶは抜けました。

ロシアの昔話をもとにした絵本。リズムのよい繰り返しが多く、聞いている子どもたちも声を合わせて引っぱります。表紙から裏表紙にかけて、みんなで大きなかぶをかついで帰る場面に満足します。初版以来60年近く読み継がれているロングセラー絵本。読んでもらえば2歳くらいから。(池田)

ヘンリーくんとアバラー

ベバリー・クリアリー 作 松岡 享子 訳
ルイス・ダーリング 絵 (学研教育出版)

ヘンリーと犬のアバラーは、お父さんとグランビーさんと一緒に、河へ釣りに行きました。グランビーさんが釣りあげた大きなサケに驚いたアバラーは、ボートの中で大暴れ。サケは逃げてしまいました。釣りをあきらめて水際を歩いていると、アバラーが何かに向かって吠え続けます。小さな流れの中に大きなチヌークザケがいたのです。とても重く、猛烈な勢いで跳ねるので、なかなか捕まえられません。ヘンリーが体ごとぶつかり、両手でかかえこんでも、サケは身をよじり逃げてしまいます。浅瀬へと繰り返し追いつめ、ようやくサケのえらをつかみました。(「アバラー、つりに行く」「ヘンリーのぼうけん」)

ヘンリー親子がサケをぶら下げて帰って行く結末に心温まり、読者は大満足です。他にも「ヘンリーのさんぽつ」など、ヘンリーとアバラーの日常生活がユーモアたっぷりに描かれています。ゆかいなヘンリーくんシリーズの第2巻目。読んでもらえば9歳から楽しめます。(盛岡)

9月	10月	9・10月の移動図書館 (いずれも木曜日です)					<お知らせ> 緊急事態宣言発令に伴い、期間中(8/20~9/12)、下記の行事を中止します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 絵本の時間 ● おはなしの時間 ● 紙バッグ工作教室 ● えほん・おはなしスタンプラリー 宣言が解除され次第、順次再開する予定ですが、状況により変更する可能性があります。再開日は決まり次第、館内掲示又は図書館ホームページにてお知らせします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。
2日	7日	塚森 地域内 10:30~ 10:50	沖代 地域内 11:00~ 11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~ 14:50	米田 公会堂 15:00~ 15:20	竹広南 公民館 15:30~ 15:50	
9日	14日			原池団地 公民館 15:00~ 15:20	山田 掲示板前 15:30~ 15:50	原 太田東地区 農村交流 センター 16:00~16:20	
16日	21日	広坂 公民館 10:30~ 10:50	上太田 公民館 11:00~ 11:20		太子 ニュータウン 公民館 15:30~ 15:50	吉福 公民館 16:00~ 16:20	

『 仔鹿物語 上・下 (光文社古典新訳文庫) 』 ローリングズ 著 土屋 京子 訳

光文社 上/420頁・下/433頁 2012年11月刊 上/895円・下/914円 (請求記号)B コウブン ロ

19世紀後半のアメリカ、フロリダの開拓地を舞台にした物語。

人間社会の軋轢を嫌って未開の奥地へ移住したバクスター一家は森の高台に居を構えた。12歳になるジョディはひとりっ子で、親友は何キロも先にいるだけだった。ジョディは自分だけの小動物が飼いたかったが、母親は食料の乏しさから許してくれない。ある日、いなくなった豚たちを探しにいった父親がガラガラ蛇にやられた。偶然近くにいた雌ジカを撃ち、肝臓と心臓をとり出し毒を吸い出した。おかげで父親は命をとりとめたが、雌ジカのそばには生まれたばかりの仔ジカがふらつきながら立っていた。ジョディは父親のために命を落とした雌ジカの子を自分で育てたいと懇願する。父親は仕事をこなすことを条件に母親を説得してくれた。体力のもどらない父親にかわって、牛の乳を搾り、遠くの水源から水を運び、畑をたがやし、薪を割って運び、自分の食事を切り詰めて仔ジカを育てていく。ジョディは後をついてくる仔ジカのやわらかい鼻づらや、つやつやした毛並みの手触りを愉しんだ。仔ジカを愛することで心に安らぎを得たのだ。

しかし、開拓地は平穏ではない。家畜を襲う害獣との戦い、大好きな親友の病死、未曾有のハリケーンやオオカミの大群の襲来、そして老獺な黒クマとの死闘が続いた目まぐるしい1年が過ぎた。仔ジカは仔ジカではなくなった。森にいる時間が長くなり、力も強くなり、あろうことか1年分の食料になるトウモロコシの芽を食べてしまう。ジョディは何日もかけて畑に高い柵を作ったが、仔ジカは楽々と飛び越えてしまった。美しい景色や生き物の営みに見とれ、苛酷な自然と向き合う逞しい人々に出会う物語だ。特に父親はジョディを愛し、陽気で力強く、狩の方法、自然との接し方、また人間について教えてくれる。父親の語る話はジョディだけでなく周りの人々を惹きつける。まるで、その場にいるような感覚を味わった。

(西村)

9月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	×	8	9	10	11
12	13	×	15	16	17	18
19	20	×	×	23	×	25
26	27	×	29	×		

10月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	×	6	7	8	9
10	11	×	13	14	15	16
17	18	×	20	21	22	23
24	×	×	×	×	×	×
×						



- ▶ ×印は休館日
- 9/22、9/24 は祝日の振替、
- 9/30 は館内整理日、
- 10/25～31 は特別館内整理期間
- ※閉館時は返却ポストをご利用ください。
- ▶開館時間は 10:00～18:00、金曜日は 20:00 まで開館

地下水

最近、久しぶりに消しゴムはんこを作った。えほん・おはなしスタンプラリーに使うはんこを一新するためだ。作るのは1年以上ぶりなので、まずは練習に少し大きめの5cm角を彫り始めた。久々のため力加減が難しく、刃を滑らかに入れていきたいのに何度も止まり、線を歪ませ、なんとも味わい深いパンダができた。次はサイズを少し小さくして、ウサギ・ネコと作ったが、あまり成長は見られない。本の通りに作っているつもりなのだが。お気に入りの消しゴムはんこの本は、『北欧風の消しゴムはんこ』(ブティック社)や『津久井智子の消しゴムはんこ。教室』(主婦の友社)。この本のようにきれいに彫れるようになるには、いったいどれくらい練習をすれば良いのだろうか。コツコツ努力する事が苦手な私には気の遠くなる話だ。

とにかく9月までに5種類以上は作らねば。と思っている時に、4度目の緊急事態宣言が発令された。9月から再開予定だったスタンプラリーは延期となり、楽しみにしていた子たちの顔が頭に浮かんだ。仕方がない。再開するまでの間、みんなが喜びそうなのははんこを1つでも増やしておこう。

(池之上)